

インターネットサーバ構築技術

Linux等サーバ向けOSのカーネル構築から、サービスの基本であるLAN技術、最適なソフトウェア選択、システム構築とカスタマイズ、および仮想化技術について、多様な実証環境・実運用経験を礎とした支援が可能。

当センターでは県内でインターネットが普及する前の1994年夏から、間欠接続で電子メールの利用をはじめました。当時はパソコン通信が主流でしたが、直後よりUNIX系のオープンソースのオペレーティングシステムであるFreeBSDやLinuxを用いてネットワークサーバの構築・運用を始め、ノウハウを蓄積しました。現在でもオープンソースのソフトウェア(OSS)を中心に利用して、センター内でサーバシステムを構築・運用しております(下図)。独自にサーバを構築することで、用途に応じた柔軟な運用や実証を行うことが可能です。

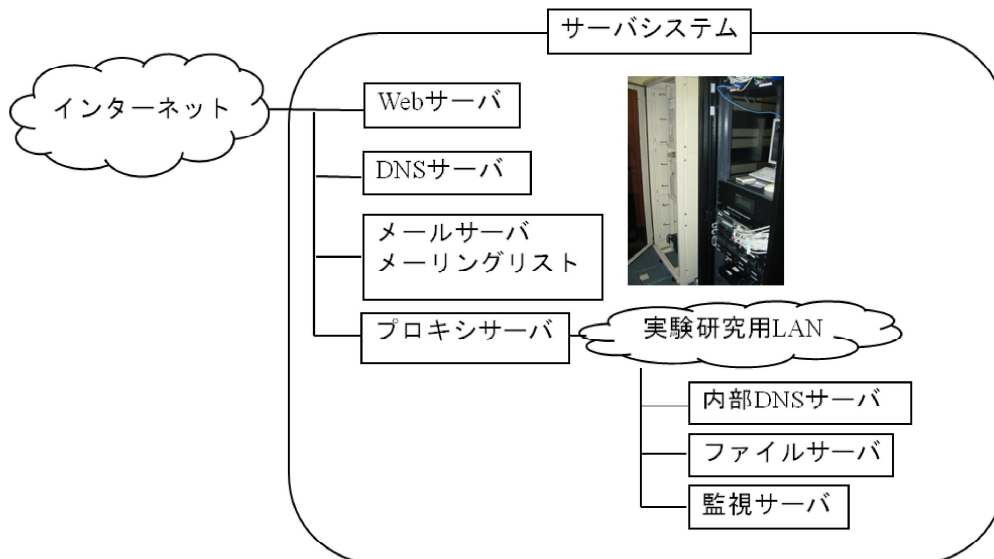


図 センターの研究用ネットワークサーバシステム構成

同じ用途でも多様なソフトウェアをあえて採用することで、個々の特徴の把握に努めています。

周辺技術であるLAN構築、ファイアーウォール等のセキュリティ対策、サーバ監視、仮想化によるプライベートクラウドにも取り組んでいます。

この技術を用いることで、以下のような問題の解決が可能です。

- ・目的とする運用法に最適なオープンソースソフトウェアの検証
- ・社内でのインターネットへの直接接続や、様々なソフトウェア試行テスト
- ・インストールによるエラー解決